

縄文時代を知ろう

およそ 5500～4500 年前の縄文時代中期、わたしたちの住む中部高地・多摩丘陵・相模野台地・武蔵野台地には「井戸尻(勝坂)文化」と呼ばれる独特の暮らしがありました。ここで発見された、石器、土器、土偶や、郷土の芸能、祭り等から、その文化にふれ、縄文時代像の変遷をたどります。宇宙・生命の誕生から現在まで、世界の神話・生活も参考にして広い視野で考えてみましょう。

講師(案内役) 紹介 藤森寛行 (スワニミズムミシャグジ探偵)

1962 年信州諏訪に生まれる

信州諏訪の郷土研究会、Suwa-Animism^{スワニミズム}で、諏訪信仰と縄文時代中期の井戸尻文化について研究。日野市立南平児童館職員。



半人半蛙文有孔罎付樽 藤内遺跡(井戸尻遺跡群)

2024 年 講座のテーマ なぜ人間は戦うのだろう

- ① 1/6 (土) 「暴力と戦争の由来」 (人類学・霊長類学から)
- ② 2/3 (土) 「縄文時代の人々は他人を殴らなかったのか？」 (考古学から)
- ③ 3/2 (土) 「井戸尻文化の世界観」

星くずの里たかやま黒曜石体験ミュージアムと諏訪のたび

2024 年 4 月 7・8 (日・月) 1泊2日 予定

時間 10時～12時 第1土曜日
場所 社会教育協会「ゆうりか」
(JR中央線 豊田駅北口 徒歩2分)
受講料 6,110円 3回(保険料・消費税含)
申込み 下記の電話かFAXでお願いします
TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626
対象 どなたでも
主催 公益財団法人 社会教育協会
〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階

<http://www.zaidan-shakyo.org>

